



第 388 号 平成 22 年 11 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 奥村正治

## 就学前検診後の事後措置について

会長 奥村正治

教育委員会（担当の校長）は健康診断の結果に基づき、保護者に治療や保健上必要な助言を行う事になっております。又、身体に何かの障害があり、特別の支援や教育を必要とされるだろうと思われる子供さんの教育相談が、実施されます。近頃は、幼稚園や保育園に通園しないで就学まで家にいる子供さんは少ない為に、就学前検診以前よりこの教育相談が行われている様である。

京都市では、就学相談の流れは、保護者と在籍予定校校長との①教育相談から始まる。その後、保護者と就学指導委員会との②就学相談があり、その報告を受け、保護者と在籍予定校校長との③就学指導の3段階に分かれて就学相談事業が行われ、どこの学校に通学するかという具体的な話になり、就学先が決定される。

就学指導委員会は、7つの部門に分かれる。視覚、聴覚、発達遅滞・情緒障害、情緒障害短期治療、肢体不自由、病弱、言語障害の部門になる。

21年度の②就学相談の状況は、視13件・聴31件・発559件・情短6件・肢58件・病239件・言322件、計1228件となっている。多い件数だなあ、と思われるでしょう。この件数の中には、新1年生だけでなく、全生徒・児童さんの分も含まれています。1228件中、新1年生対象は229件2割弱であり、②就学相談は通学中の方が大半である。①②③の相談・指導の後、平成21年5月31日現在によると、総合支援学校へ

443名、育成学級へ1143名、通常の学級に通学しながら通級による指導を受けている533名となっている。この件数すべてに医師がかかわっているわけではない。①教育相談で、保護者と校長との相談が十分にでき、両者の方向性が一致している場合、②の就学相談は、検査等は別場所で行わない。書類の提出により具体的な②相談は行われなくて③就学指導となる。

医師による検診は、②就学相談で、視・眼科（松本康宏先生）、聴・耳鼻咽喉科（立本圭吾先生）、発・肢の精神科（十一元三先生、定本ゆきこ先生他）、発・内科（服部博史先生・館石捷二先生・奥村正治）、肢・整形外科（辻丈夫先生）、肢・内科（中尾安次先生）が担当している。病弱はそれぞれの病院の担当の先生となる。

土曜日・日曜日が相談日となるので、担当の先生には大変ご迷惑をおかけしている事になる。が、就学相談の1ハードルである為、よろしく願いいたしますの一言では大変申しわけないのですが、よろしく願いいたします。

本年度は②の就学相談は、視・2回、聴・2回、発達情緒・9回、肢・2回予定されています。



## 運動器検診をしてみても

北野中学校医 林 鐘 声

3月に府医からモデル校として取り組めないかとの打診があり、保健主事を兼ねる養護教諭に相談したところ、学校長から了解が得られ実施しようということになりました。日程スケジュールの制約から、今年は1年と2年を対象とすることにしました。

対象生徒全員に、運動器の故障の既往や現在の不具合、1日の運動時間、運動クラブの在籍の有無などに関する問診票が府医から送られてきて、その配布、回収は養護教諭の仕事となりました。

運動器検診としては、問診票のチェック、姿勢(側弯、X脚、O脚など)、歩き方のチェックをした上で3つの動作をテストしました。①直立の姿勢で両手を伸ばして"万歳"の動作をさせて、両腕が完全に耳をはさむように挙上できるかどうかの腕挙げテスト、②両足を揃えて膝を伸ばしたままで背腰部を前屈させ、指先が床につくかどうかのおじぎテスト、③膝を閉じ、踵を床につけた状態で完全にしゃがみこめるかどうかのしゃがみこみテスト。これらの動作は体育の時間に前もって練習させ、当日、現場で手間取ることが無いように配慮しました。問診票に検診結果を記載し、9月に府医へ再送付しましたので詳細な分析結果については、改めて報告が届くようです。生徒達にとって有益な情報となって帰って

くることを期待します。

検診実施者としては、驚いたり気になったりした点が多々ありました。手許の資料を独自にまとめてみましたので、お知らせしたいと思います。O脚の生徒が5人いましたが、明らかな側弯を認めた生徒のみ整形外科受診を薦めました。3つの動作では①の腕挙げテストで所見を示す生徒はいませんでした。②のおじぎテスト、③のしゃがみこみテストでは出来ない生徒が意外に多くいました。(表1)。

中1、中2全体でみると、手がかかない生徒は20人(7.8%)、しゃがめない生徒は30人(11.7%)、ともに出来ない生徒は4人でした。即ち、有所見者は46人(18.0%)で、男女差でみると男=21%(25/119)、女=15.3%(21/137)と男子に多い傾向がありましたが、学年による差は認めませんでした。両方とも出来なかった生徒4人のうち、バスケットボール部員が2人、卓球部員が1人と3人が運動部に属していたので、運動部と非運動部で差はないかと検討しましたが、運動部員の有所見者=17.6%(34/193)、非運動部員=19.0%(12/63)と差は認めませんでした。ところで、男子は91%、女子は59%が運動部に属しており、運動部の生徒の多いことには驚きました。運動部を個別にみると、卓球部

表1：動作テストの有所見者

	検査人数	①手が挙がらない	②指先が床につかない	③しゃがめない	②③合併	②③の有所見者
1年男子	64	0	8	8	1	15
1年女子	69	0	3	7	1	9
2年男子	55	0	4	8	2	10
2年女子	68	0	5	7	0	12
計	256	0	20 (7.8%)	30 (11.7%)	4	46 (18.0%)

28.6% (6/21), バレーボール部 (女子のみ) 27.3% (3/11), バスケットボール部26.9% (7/26), 陸上部23.5% (8/34) は18%を上回っており, 野球部, ソフトテニス部, サッカー部は有所見者の割合が低く, 体操部は5人のうち当然ですが0人でした。有所見者の多いクラブは, その運動の特性が関与しているかも知れません。それであるなら猶更, ストレッチを含めて柔軟性をつけるよう指導していくべきだと思います。いずれにせよ, 運動する上で, 柔軟性やバランス感覚を養うトレーニングは必須であって, このことの軽視が運動中の外傷や故障を誘発する重大な要因であり, 運動部毎でトレーニング法を考えるべきではないでしょうか。また18%の生徒が柔軟性に欠けるという結果の出たことを踏まえると, 体育の授業でもストレッチを含めて柔軟性を重視する指導があってよいのではないかと考えられました。こうした点を10月に行なわれた学校保

健委員会述べましたところ, 学校長からは職員との情報の共有とともに改善のための協議を考えたことの返事を頂きました。学校現場での取り組みで, 少しでも改善のであることを期待しつつ来年もモデル校として参加していきたいと考えています。

運動器検診は, 効率よく実施しても1人1分は時間が必要となります。担当校の規模なら余り無理なく出来ました, 1学年200人を越し, 1人校医, 1人養護教諭では大変なことは自明です。また, この検診で整形外科への受診を薦める基準, どこの整形外科が診断や運動療法をしてくれるのかなど, バックアップ体制の確立を進めてもらわないと, 巾広く行うことにつながらないと思います。とはいえ, スポーツ障害の原因となる柔軟性への配慮不十分な生徒がこれほど沢山いることを考えると, この検診の推進は大事です。

---

---

## 小学生陸上競技記録会

福西小学校校医 奥村正治

秋晴れの少し暑い日の10月16日(土)に朝9時より西京極陸上競技場と補助競技場で, 小学生の陸上競技記録会が開催されました。本年は第39回目となっております。参加校は160校, エントリーした小学校6年生は3083人と大会パンフレットにはなっております。全天候型のグラウンドでの競技ですので, 学校とは別世界のグラウンドでの競技ですから夏のプールでの記録会と同様, 多くの児童の参加があれば……。と思っていましたが, 京都市の約1/3の児童の参加という事になるそうです。

競技種目はトラックが, 100m, 800m, 50mハードル, 4人×100mリレー, フィールドは走幅跳と走高飛の2種目でした。夕方4時すぎまで大会は続き, 男子4人×100mリレーで大会新が出ました。例により校医としての仕事に, 前会長の長村先生と私が

出席いたしました。参加人数が多いわりに, 救護室に訪れる人は少なかったです。陸上競技ですので, 擦過症が多いのは已むを得ないでしょう。4ケースでした。気分不良2ケース。捻挫1ケース, 左手首橈骨・尺骨骨折1ケース。口内裂傷(転倒による)1ケース。(延べ9ケースです)

昨年もありましたが骨折が2年続けて発生しました。又, 本年は口唇裂傷(内側)です。歯科の先生に8針逢合をお願いいたしました。下顎骨が見える程度の裂傷でした。近年子供の転び方がへたになったと云われている様ですが, 多すぎる人数の走行でもなく, もう少し転び方を学ぶと云うか, 敏捷性を高める体育も必要なのでは?と考えさせられる大会でした。

---

---

## 第 6 回 常任理事会

---

---

平成22年11月6日  
於 事務局

**出席者** 奥村会長，林副会長，井本専務理事，杉本  
常任理事，星谷・鈴木各耳鼻咽喉科専門医  
会理事，長村監事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 色覚相談 10/5 (2名)、10/12 (1名)、  
10/19 (2名)、10/26 (2名)
2. 精神衛生研究会 10/14 7名出席
3. 京都市小学生陸上競技記録会 10/16  
於：西京極陸上競技場 奥村・長村出席
4. 京都市学校保健会健康教育シンポジウム  
10/26 於：総合教育センター  
シンポジスト 杉本先生
5. 第48回 日本癌治療学会学術集会市民公開シン  
ポジウム 10/30  
於：国立京都国際会館 (後援)
6. 京都府医師会館 新会館竣工記念式典・祝賀会  
11/3 奥村出席
7. 教育功労者表彰について 11/11
8. その他

### <協議事項>

1. 第41回 全国学校保健・学校医大会参加者確認  
について 11/20
2. 第59回 近畿医師会連合学校医研究協議会総会  
について 11/28
3. 平成22年度 学校保健関係者表彰祝賀会・懇親  
会出席者について  
於：京都ロイヤルホテル&スパ 12/4
4. 平成23年度 総会講師について H23. 4/16
5. その他

### <関連学会・各種協議>

1. 平成22年度社団法人京都府歯科医師会会員大会  
11/6 於：全日空ホテル 奥村出席
2. 色覚相談 11/9、11/16、11/30
3. 精神衛生研究会 11/11
4. 第60回全国学校保健研究大会 11/18, 11/19  
於：群馬県前橋市 奥村・長村出席
5. 第41回全国学校保健・学校医大会 11/20  
於：群馬県前橋市  
奥村・林・竹内・星谷・鈴木出席
6. ワンポイント相談 11/25
7. 第59回 近畿医師会連合学校医研究協議会総会  
11/28 於：兵庫県神戸市 奥村出席
8. 京都市学校保健会研究発表会・表彰式  
12/4 於：京都御池創生館
9. 京都市学校保健会表彰式祝賀会・懇親会  
12/4 於：京都ロイヤルホテル&スパ
10. 京都市小学生駅伝競走記録会 12/5  
奥村・星谷出席
11. 精神衛生研究会 12/9
12. 第7回常任理事会 12/11

